

2014年度
(第3期)

事業報告

自 2014年 10月 1日

至 2015年 9月 30日

一般財団法人 YS市庭コミュニティー財団

事業報告

今年ではや第三期目となりました当財団の助成事業ですが、今回も対象地域を全国とし、日本の津々浦々にてユニークかつ、精力的に活動している諸団体からご応募頂き、素晴らしい活動に繋げて頂きました。

ここに今季の事業報告をさせて頂きたいと存じます。

応募期間：平成26年6月1日～7月20日

選考委員会：平成26年8月27日（水）於：YSディセンダンツビル2階 市庭スタジオ

採択通知：平成26年10月1日

① コミュニティー事業助成事業

1、コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業〈実績〉

- ・ 団体名：特定非営利活動法人アジアの新しい風 代表者 林 望
活動内容：中国・タイ・ベトナムからの留学生との文化交流
助成金額：900千円
テーマ「地域の人達と和食文化を語る」
- ・ 団体名：阿佐ヶ谷おたがいさま食堂 代表者 齊藤 志野歩
活動内容：まち食の普及および実施支援事業
助成金額：970千円
テーマ「共食のよさを普及する」
- ・ 団体名：日本福祉大学地域研究プロジェクト 代表者 高柳 未佳
活動内容：若者の参加による「花街道整備」と過疎地の活性化
助成金額：400千円
テーマ「長野県伊那谷辰野町川島地区の花街道の活性化」
- ・ 団体名：特定非営利活動法人 地球対話ラボ 代表者 小川 直美
活動内容：地域の未来を切り拓くための宮古島とアチェの子ども国際対話・交流
助成金額：1000千円
テーマ「宮城県宮戸小とインドネシアアチェ野子ども達との交流」
- ・ 団体名：特定非営利活動法人 音まち計画 代表者 岡部 修二
事業タイトル：アートアクセスあだち 音まち千住の縁
助成金額：1200千円
テーマ「足立区の外国人居住者の生活感をミュージアム展示に」

計5件 予算 5,000千円
実績 4,470千円

2、社会教育及び文化・スポーツに関する事業（実績）

- ・団体名：認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会
代表者 吉野 正敏
事業タイトル：雪国さっぽろ発 ECO エネルギー防災教室
助成金額：410 千円
テーマ「フリースクールのエコ教室」
- ・団体名：カッチェル 代表者 杉原 弘子
事業タイトル：おばちやま女子会「カッチェル」
助成金額：210 千円
テーマ「おばちやまの学びとおしゃべり」
- ・団体名：日本赤十字看護大学 澤井美奈子研究室
代表者 澤井 美奈子
活動内容：ピンクリボン活動教室 - 伝え、繋がり、動きたくなる
ワークショップ -
助成金額：160 千円
テーマ「日赤看護大学生へピンクリボン啓発」
- ・団体名：特定非営利活動法人 取手アートプロジェクトオフィス
代表者 佐野 吉彦
事業タイトル：コミュニティーを紡ぐ“農”と“芸” - 表現とつながる衣食住
助成金額：500 千円
テーマ「受託先・取手市高須地区公民館で、農芸創作アート展示」

計 4 件 予算 5,000 千円
実績 1,280 千円

3、防災講座・職場体験セミナー等の開催助成 <実績>

計 0 件 予算 4,000 千円
実績 0 円

4、体験学習に関する事業

- ・団体名：NPO 法人 スクール・アドバイス・ネットワーク 代表者 生重 幸恵
事業内容：小中高校生のための「伊藤研修センター」の特徴を生かした
体験学習推進事業
研修実施マニュアル並びに小・中・高(各1校)実験研修
助成金額：1070 千円
テーマ「小中高生の職場体験授業 礼儀・接客・衛生等を学ぶ」

計 1 件 予算 2,000 千円
実績 1,070 千円

助成総額 合計 10 件 6,820 千円

② 知の冒険事業

- ・団体名：特定非営利活動法人 音まち計画 代表者 岡部 修二
事業タイトル：スーパー自由研究 子どもの音まち
助成金額：1000 千円
テーマ：ザプライス店頭で子ども向けの3催事
- ・団体名：NPO 法人 スクール・アドバイス・ネットワーク 代表者 生重 幸恵
事業タイトル：講演会「子どもを英語好きにするために」開催
助成金額：350 千円
テーマ「国際言語文化アカデミア江原美明教授の講演」

助成総額 合計 2 件 1350 千円

本年度 助成総額 合計 8,170 千円 (12 件)

今期採択された助成事業もそれぞれ、核となる事業活動の質や、地域に与えるコミュニティー力に溢れており、そこに魅力を感じた案件揃いとなっております。この中には昨年に引き続き、継続助成ということで、当財団として長期的に事業を応援してゆく団体もございました。

また、知の冒険事業として、財団として新たな切り口でコミュニティー創設事業を実験的に展開致しました。当財団の評議員、理事の方々の豊かな見識と、智慧、ご縁を基に“身近で”、“ためになる”お持ち込み講演会を実施し、おもに子育て世代の方々から、よい反響を賜りました。

これら助成団体が各事業を通じ、成し得たであろうコミュニティー活動を通じて、日々生活する人々が活気に満ち、地域の再生、生活や文化の発展等に寄与出来るように、引き続き応援したいと考えております。

以上